

神戸市が総合的な防災性能を高める都市づくりの一環として地域防災拠点となる兵庫区役所に導入したものの。

このシステムは、自立運転機能と蓄電池を備えており、万一の災害で電力会社の配電系統が停止したときには、自動的に独立電源となって防災用機器に電力を供給することができる。

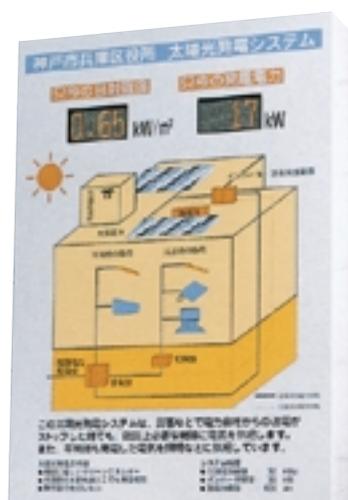
阪神・淡路大震災を契機に、ライフスポット（災害時におけるコミュニティ自立の拠点）の電源としてこのようなシステムが注目を集めている。



太陽電池設置状況



30kW連系保護装置



表示装置

神戸市

| | |
|--------|-------------|
| 所在地 | 兵庫県神戸市 |
| システム | 系統連系型、災害対応型 |
| 太陽電池容量 | 30kW |
| 種類 | 単結晶 |
| 設置年度 | 1996年度 |